



思考・表現ツールとしてのICT機器の活用

淳城西小学校では、1人1台端末のより効果的な活用について、校内研修や職員同士の情報交換を行っています。今号では、思考・表現ツールとしてのICT機器の活用の様子をお伝えします。

淳城西小学校の取組

昨年度の「1人1台端末をとりあえず使ってみよう」から、今年度は「教科の目標を達成するためのツールとして、効果的に使おう。」を合言葉とし、ICT機器を活用した授業づくりを進めています。

夏休みには、お互いの実践を情報交換する研修会を行いました。こうした研修会以外でも、日常的に先生方は情報交換を行い、より効果的なICT活用について模索しています。



淳城西小学校3年生作
「算数の達人 平塚教頭先生」

平塚 定 教頭

活用事例

国語科（6年）

【育てたい力】
授業で身に付けた力を意識し、課題やめあてについて自己評価することができる。

① 短歌のタネを見つける。
今回は、短歌のタネを探したけど、最初はなかなか見つけられず苦戦したけど最終的には、タネを書けたので良かったです。

② 短歌を作る。
今回も最初のほうは音数や、語順についてかなり迷ったけど最後には自分の良いのが書けたのでよかったです。

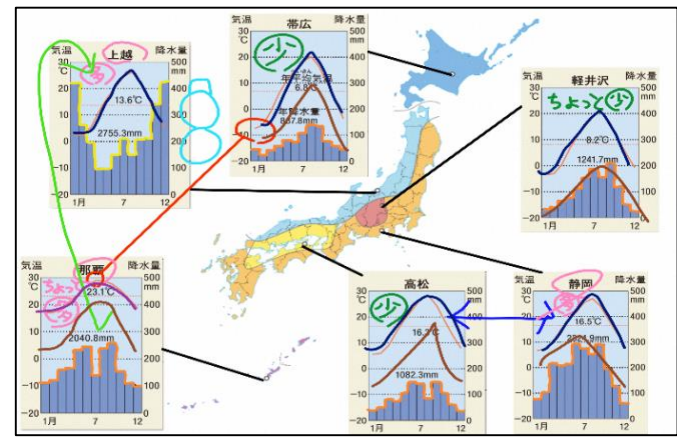
③ 表現の工夫・自分の短歌を見直す。
自分では、自分の短歌はいいと思ったけど、人に見せると色々なアドバイスや指摘を受けるというところが色々ありました。

④ 感想を伝え合う。
友達への短歌の感想をしっかりと見つけ、ペアに言うことができたので良かったです。あとしっかりと自分の短歌の説明もできたと思います。

☆ 一たのしみは「振り返りシート」
☆ 今日の学習で自分の力になったことを書こう。

社会科（5年）

【育てたい力】
多面的な意見を出し合いながら、共通理解を深める。



「考えを共有する場面」での活用例です。児童はまず、資料から読み取ったことを、自分のノートに記述します。その後、先生から児童の端末に配付された資料に書き込みをしながら、友だちに説明をしました。端末を説明のツールとして使い、聞き手を意識しながら説明をすることで、共通理解や自分の考えを深めることができていました。

児童会活動

【育てたい力】
実社会に活かす目的に応じて課題を設定する。

立志だより

令和4年度運動会テーマ決定！！

今年度の運動会のテーマについて、3年生以上の各学級で話し合い、各学級ごとにテーマを考えました。そのあと、西小サミットで話し合い、今年度の運動会のテーマを決定しました。一生けん命話し合って決めたので、ぜひ覚えてください！ よろしくお願ひします。

令和4年度のテーマ

はし 走りきれ か 勝っても負けても ま ぜんりよく 全力で



～難波指導教諭のつぶやき～



児童は、朝、登校後すぐにタブレットの電源を入れ、いつでも使える状態にしています。デジタル教材を使った操作活動、児童同士の意見の交流、考えの比較・検討など、様々な場面で活用されていますが、一番多い活用方法は表現ツールとしての活用です。

また、淳城西小学校では教科を超えた実社会に役立つ基礎的汎用的能力の育成も目指しており、ICT機器を効果的に活用しています。

「表現する場面」での活用例です。児童会便りを児童が作成し、各学級に配布しています。相手意識を持ち、全校児童に伝えたい内容が伝わるように、言葉を精選したり、レイアウトを工夫したりして作成しています。